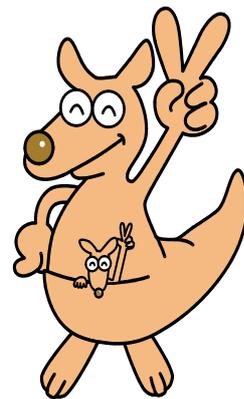




No 2 一人ひとりを大切にした教育を目指して・・・

「特別支援教育基本計画」 第2章 現状と課題について

「子ども かがやきだより」第1号では、「特別支援教育」とはどんなことか、「基本計画の概要」についてお知らせいたしました。第2号では、本市の特別支援教育の「現状と課題」についてご説明いたします。



児童生徒の状況は・・・

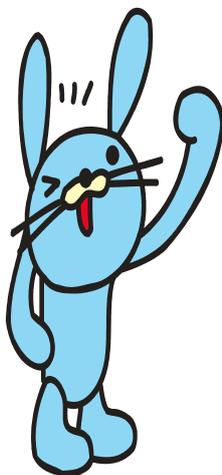
従来の特殊教育の対象の障がいのあるお子さんだけでなく、通常の学級において、落ち着いて着席して学習をすることが苦手など、学習面や行動面で著しい困難さを示している児童生徒は年々増加傾向にあります。

教育における支援の状況は・・・

知的発達や情緒面、手足を動かすこと、聴くことなどにハンディをもつお子さんが、個々のニーズに応じた適切な教育を受けられるようにするための特別支援学級の整備は、計画的に進められていますが、すべての通常の学級において、弾力的に支援できる指導体制づくりや指導内容・指導方法の工夫等については、調査研究が強く求められていると同時に、支援の場の確保や支援者の確保が求められています。

教職員の専門性の確保については・・・

「特別支援教育」や「発達障害のある子への支援」に関する校内研修はほとんどの学校で行っていますが、県や市で実施している専門的な研修を受講している教職員の割合は、まだ十分とは言えず、教職員一人ひとりが、障がいのある児童生徒の思いや特性を正しく理解した指導や支援を行えるような教職員研修の充実が求められています。



幼児期からの支援や市民への啓発については・・・

子どもを取り巻く家庭、保育園・幼稚園、学校間における一貫した支援や関係機関との適切な連携を進めていくことをはじめ、広く一般市民の方々の理解（発達障害を含む、障がいのある子への理解、地域の中で共に育てていくという意識の高揚）が求められています。

子ども かがやきだより 第3号では、本市特別支援教育の基本理念・基本方向についてお知らせします。